

自治会まちづくりミーティング（要旨）

1. 自治会等の名称 那加第 1 自治会連合会
2. 日 時 平成 29 年 7 月 6 日（木） 19 時 00 分～21 時 00 分
3. 場 所 那加西福祉センター
4. 出 席 者 自治会長 13 名、 市長、 都市建設部長

<内容>

○連合会長のあいさつ

○市長のあいさつ

○行政の説明

- ・ ひと・くらし・まち とともに「育む」各務原

○テーマ概要

テーマ①：市道那 378 号道路改良事業について

テーマ②：学童保育の充実

テーマ③：交通渋滞解消について

テーマ④：都市計画道路の今後と地域の排水対策について

○提言による懇談

テーマ① 市道那 378 号道路改良事業について

〈長塚町自治会長〉

市道那 378 号線道路改良事業による植樹帯については、道路交差点の見直しの悪さによる交通事故が予想されるほか、落ち葉による農業用水路や排水路の機能低下、道路沿線の耕作者からの苦情や地元農事改良組合の維持管理業務への支障等が予想されます。また、高木植栽では、鳥類等による農作物被害が考えられますので、苦情対策としても低木植栽をお願いします。

道路整備の完成後は、交通量の大幅な増加や車のスピード化、大型車両の通過等が予想されます。それによる交通事故発生の増加も危惧されます。

特に幹線道路一帯が田畑のため農業用トラクターやコンバイン等が東西を横断するには大変危険を伴うため、低速車両でも安全に横断できるよう点滅信号機の設置をお願いします。農業従事者が年々高齢化していく現状でありますので、農業用の車両が安全に横断できるよう信号機の設置について早期に県公安委員会との調整をお願いします。

〈市長〉

市道那 378 号線については、市と県で整備を進めていますが、平成 25 年に実施した市民アンケートでは、「各務原市は緑豊かな美しい街で暮らしやすい」といった市民の方々の認識もある状況であります。

先ほど、低木の話がありましたが、高木が成し得ている要素としては、自動車の視線誘導や歩行者を守る車止めの役割、地球温暖化の防止に貢献、木陰を創出するということから歩いている

方々にとっても優しいつくりであることから高木を予定しています。

通常、標準的な木の植え方としては間隔を6から8mとしています。より長い10mピッチで植樹を予定しています。

また、植樹した樹木については、以前は、自然樹形を大切にしておりましたが、ここ数年は緑との共生ということで透かし剪定など、適切な維持管理に努めてまいります。

点滅信号については、同様の要望を平成28年10月に3自治会より頂いております。

市としても公安協議を実施して平成29年4月に信号機設置の要望書を各務原署へ提出しています。この要望については、県の公安の管轄ですので岐阜県警に設置してもらいますので、市としては引き続き横断需要が非常に強いといったことから強く要望していきたいと思っております。

〈長塚町自治会長〉

点滅信号機の早期設置は難しいと思っておりますので、境川（長塚町西側）の河川管理道路をタール舗装にさせていただいて、トラクターやコンバインが迂回路として通行できるようにしていただきたいと思っております。

〈市長〉

検討させていただきます。

テーマ② 学童保育の充実

〈浜見町第二自治会長〉

先日、子ども会のスタッフと懇談をしたなかで学童保育の問題がありました。

学童保育への入所を希望する方は、書類審査を含めてかなり厳しいと、例えば祖父母が同居若しくは近くに居る場合は学童保育に入れない。また、那加第一小校区は農業が非常に多く農業をしている祖父母が近くに居るがゆえに学童保育に入れない。そして、自営業の方でも仕事或いは病気がち、そういった点で審査が厳しく学童保育に入れない人が沢山いることが分かりました。

農業の人で学童が学校から帰っても畑仕事をしている、そういった方々が学童保育に入るにはどうしたらいいのか、行政は就労証明書を出してくださいと言っています。

必要であるから学童保育に入ろうとする。様々な理由があっても学童保育に入れたい入りたいにもかかわらず入れない人が沢山います。もっと市には学童保育が必要であれば「受け入れますよ」と言った体制をとっていただきたいと思っております。

そして、体制が整ったら中身が問題ですが、以前は子育て支援課が中心となっておりましたが、現在は民間委託をされており、無資格者が殆んどです。

学童保育のなかで、怪我や事故、トラブルがあった時、以前は子育て支援課の職員が一緒になって対応してくれました。

民間委託業者から有資格者がみえるのでしょうか、専門的分野の知識を持った人は何人いますか。というのは、那加第一小学校の学童保育のなかで、いじめが起きています。専門的分野の人が見れば解決できますが、資格の無い方は見切れないと思っております。いじめた子、いじめられた子の両親に会いましたが、現実がいじめがあったことを認めました。そのことを学童保育の職員は知らず、対応できなかったようです。大きくならなければ良いと思っておりますが、どうでしょうか。

〈市長〉

従前からですが、ご自宅で同居して見える方や、お近くに祖父母がいる家庭については、子どもは身内で見ていただく方がよいという方針は変わっていません。

高齢であったり、祖父母が勤めていらっしゃる場合、病気などの場合は理由書を提出していただいた上で、放課後児童クラブ（学童保育）をご利用いただけるような状況になっています。

以前は、夏休みのみでしたが、現在は、春休みのみや冬休みのご利用も可能となり、サービス的には拡大しています。

放課後児童クラブの民間委託ですが、以前、名古屋市が先進的に民間委託をされ、先進的な事例となり全国的に広まってきています。

子育て支援課の職員が来ないという話でしたが、あくまで最終的な責任は市が対応させていただきますので、是非そういったことがあったときは子育て支援課へご連絡をいただきたいと思います。放課後児童クラブの方にそのような事案があった場合には連絡するように再度指導します。

委託業者においては、以前から色々な分野に進出してきています。市も昨年度市内の3校において委託しています。その前には美濃加茂市でもしっかりと民間委託として運営されています。

民間だからといって心配することはありません。市もプロポーザルで出していただいた企業であり、今までの全国各地での実績であったり、保護者アンケートでも心配されていることはありませんでしたので民間だからといって判断はしにくいと思います。

民間委託になったからといって、市が行っていたときと差異はないと思いますので、先ほどいじめの話がありましたが、そうした時は、市へご一報いただきたいと思います。

費用負担については、県内21市中安い方から6番目ですので、費用的にも受益者負担ですので順位だけで判断してはいけませんが、特に高くはないと思いますのでご理解願います。

テーマ③ 交通渋滞解消について

〈琴が丘自治会長〉

琴が丘団地の南西の交差点の交通渋滞についてですが、東海学院の前を走ってこの交差点に進入し、右折する場合に道幅が狭いがゆえに右折車が1台でもあると直進する車の流れが悪くなり、ひどい時には琴が丘の入口まで数珠繋ぎになってしまいます。

また、朝夕の通勤時間帯では団地内に進入し疾走して団地の東側の信号に抜けるようになってしまっていますので、交差点の流れを良くしたいと思い提言しました。

考え方としては、朝夕の時間帯にどれくらいの交通量があるのか、右折車が何台あるのか、そして変則の交差点なので青になる時間が正しいか調査をしてから入らないと話が進まないと思います。また、琴が丘団地の中に逃げてくる車の数を数えて、朝通行止めにしていただきたいほど危険な状態です。

そして、交差点角の土地を市が購入し、交差点を拡幅して右折車線を造れば流れが良くなると思います。

〈市長〉

この交差点の信号機は3サイクルで運用されている関係で、通常の信号よりも待ち時間が長いと感じるかもしれません。現状を解決する方法としては、右折車線を設けることが有効だと考えられますが、交差点を境に南北に100mの用地が必要となりますので、実現には大きな課題があ

ります。

このようなことから、この道路の代替え機能として、日野岩地大野線を計画しております。この路線は市域をまたがる広域幹線道路であることから、毎年、岐阜市と各務原市から、早期に事業着手していただくよう、岐阜県に対して要望しています。また、岐阜県、岐阜市、各務原市と研究会を立ち上げ、事業効果と課題の洗い出しを行っているところです。この道路が開通すれば、ご要望交差点の交通量軽減が期待されます。

現時点で交差点を改良する予定はありませんが、団地内へ流入する車両に対しては、速度を抑制する注意喚起看板の設置やカラー舗装の設置などを検討してまいります。

テーマ④ 都市計画道路の今後と地域の排水対策について

〈西市場町自治会長〉

都市計画道路の蘇原ロックタウンから岐阜長森に抜ける道路が計画されていますが、工事が始まることなく何年も経過しています。

那加西市場町内を通るおがせ街道は、交通量が多いが道幅は狭く、歩道也没有。これまでに、横断中の住民が死亡した事故もあり、地元住民は危険な思いをして道路を横断しています。

こうしたなか、都市計画道路岐阜鵜沼線は、おがせ街道のバイパス的存在になって、完成すれば、おがせ街道の交通量は減少し、道路改良や交通規制も容易になるものと考えられます。このため、都市計画道路の日野岩地大野線との関係もあるが、岐阜鵜沼線の整備を選考し、早期の完成を望むものであります。

那加保育所の東交差点の東側に農業用水が北側に流れていますが、南側が低くなっているため、雨が降るたびに側溝に水が溜まってしまいます。雨が降ると家から出ることができないことがありますので、緊急性を要するため至急改修をお願いします。

〈市長〉

岐阜鵜沼線は、全体計画延長が9,120mあり、全体の約3分の1にあたる2,960mが整備され、その西と東の両側区間は未整備となっています。

西側の区間では、岐阜市境付近を南北に通る都市計画道路「日野岩地大野線」に接続し、その後、県病院に向う岐阜市の幹線道路に繋がる計画となっていますが、これらの道路についても未整備となっているため、現時点では、岐阜鵜沼線の接続先が無い状態となっています。このため、基本的には接続先となる日野岩地大野線を先行的に整備する必要があります。

日野岩地大野線については、本市と岐阜県で施工区間を分けて事業を実施しているところですが、岐阜鵜沼線が接続される、いちょう通りから北側の区間についても、岐阜県に対して早期の事業化を強く要望します。

昨年12月に、岐阜県とともに「岐阜鵜沼線勉強会」を立ち上げ、交通事故や渋滞の状況、新境川への架橋など、整備するうえでの様々な課題について議論を重ねているところです。

排水については、平成28年度のスシロー西側の交差点改良により、放流先が変更されています。

排水区域をカットしたことにより、現時点では、青色の区域が現在の排水路に流れています。

現排水路の調査結果としては、赤線部分の区間において、上・下流の断面に比べて、通水断面

が小さいことが判明しました。

今後、赤線部分について、上・下流の通水断面を考慮し、赤矢印で示す排水路に改修することにより、浸水被害が軽減されると想定されます。

○その他の主な発言

〈桐野町自治会長〉

GO!NEXT のポスターですが、何枚作成してどこに配付されていますか。

〈市長〉

500 枚作成して、公共施設（福祉センター、各サービスセンター、小中学校など）に掲示しています。

〈桐野町自治会長〉

せっかくのポスターですので、自治会などに配付してはどうですか。

〈市長〉

枚数等の確認をさせていただきますので、よろしくお願いします。

○連合会長からまとめのことば

○市長からまとめのことば